



SCR 第 1209001 号

2019年12月9日

都 道 府 県
各 指 定 都 市 民生主管部（局）長 様
中 核 市

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長



2019年度 児童福祉施設経営セミナーにおける周知のご協力について（依頼）

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当機構の業務につきましては、日頃格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当機構では、社会福祉施設の経営に携わる方及び施設開設を考えておられる方等を対象に、別添のとおり「2019年度 児童福祉施設経営セミナー」の開催を予定しております。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、貴職管内の受講対象者、市町村及び関係団体等へご周知頂きますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも一層のご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンターセミナーチーム

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル9F

TEL：03-3438-9932

1. 開催趣旨

子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化するなか、あとを絶たない児童虐待ニュースをはじめ、孤立感や育児不安を保護者が一人で解消しきれず、深刻な事態に陥るケースが近年相次いでいます。また、核家族化等による、家庭の養育機能の低下により、子ども家庭福祉における課題はより複雑化・多様化しており、それらを支援する体制の構築が急がれるところです。平成28年に改正された児童福祉法や、翌年取りまとめられた「新しい社会的養育ビジョン」、また平成30年に通知された『「都道府県社会的養育推進計画」の策定について」等では、社会全体で子どもや子育て世代を包括的に支援していく方針が打ち出され、行政機関をはじめとした多機関・多職種で連携し、すべての子どもの利益を優先した仕組みづくりが進められております。

「社会的養育ビジョン」においては、社会的養育の対象者は「すべての子ども」と定義され、何らかの事情により、社会的養護のもとで生活を送る子どもへの「家庭的養育」のさらなる推進が再認識されるとともに、代替養育までには至らないが、虐待が疑われる場合等の専門的な支援を必要とする家庭への在宅支援の強化も同時に提唱されました。

また、子どもや家庭への支援は、妊娠期や乳児期等のライフサイクルの一部を支援するだけでは解決が難しい側面があり、とりわけ虐待や貧困の課題に関しては、養育者を含めた家族支援がより重要となります。

そこで今回のセミナーでは、児童養護施設や母子生活支援施設をはじめとした社会的養育を担う事業者の専門性を生かした地域との関わり方と、家族課題の解決も視野入れたライフサイクル支援に重きを置きながら、これからの社会的養育のあり方について学んでいきたいと思ひます。

2. 主 催 独立行政法人福祉医療機構

3. 開催日程 2020年3月5日(木)

4. 会 場 AP新橋 4階「Dルーム・Eルーム」(東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前)
※JR線、東京メトロ銀座線、都営浅草線「新橋駅」から徒歩

5. 定員及び受講対象者 100名程度
※福祉施設を経営する法人役員、施設長、事務長など施設経営に携わる方

6. 受講料 1名 8,800円(消費税込み) ※受講料の事前振込が必要となります。

7. 受講申込受付開始日時 2019年12月16日(月) 午前10時から
※ お申込みは先着順にて受付を行い、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
受付開始以前に送信された「受講申込書」は、受領いたしかねますのでご注意ください。

8. 受講申込方法 (申込先は福祉医療機構ではありません。ご注意ください。)

WEB、またはFAXにてお申込みください。

WEBの場合は、機構ホームページにアクセスしていただき、申込フォーマットに必要事項をご入力の上ご送信ください。

(トップページ → 新着情報・お知らせ → 児童福祉施設経営セミナー)

FAXの場合は、別添「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、下記FAX番号にご送信ください。

(FAX: 03-3595-1119)

《申込先》 名鉄観光サービス株式会社 名鉄観光MICEセンター

9. その他

- ・受講料は、セミナー開催日14日前までに指定された口座に入金をお願いいたします(当日の現金払いは不可です)。
- ・受講料に昼食代は含まれておりません。
- ・交通手段・駐車場・宿泊先等は、受講者ご自身でご準備・ご確認をお願いいたします。
- ・都合により、講師や講義内容等に変更が生ずる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

受付に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 名鉄観光MICEセンター
TEL: 03-3595-1121
FAX: 03-3595-1119

セミナー内容に関するお問い合わせ

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター
TEL: 03-3438-9932

当施設の事業運営につきましては、平素より格別のご愛顧を賜りまして、心より御礼申し上げます。経営セミナーの開催に際し、是非ご受講いただければ幸いです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

2019年度 児童福祉施設経営セミナー

—複雑化する子ども家庭福祉をめぐる課題と社会的養育のあり方—

主催：独立行政法人福祉医療機構

子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化するなか、あとを絶たない児童虐待ニュースをはじめ、孤立感や育児不安を保護者が一人で解消しきれず、深刻な事態に陥るケースが近年相次いでいます。また、核家族化等による、家庭の養育機能の低下により、子ども家庭福祉における課題はより複雑化・多様化しており、それらを支援する体制の構築が急がれるところです。平成28年に改正された児童福祉法や、翌年取りまとめられた「新しい社会的養育ビジョン」、また平成30年に通知された「『都道府県社会的養育推進計画』の策定について」等では、社会全体で子どもや子育て世代を包括的に支援していく方針が打ち出され、行政機関をはじめとした多機関・多職種で連携し、すべての子どもの利益を優先した仕組みづくりが進められております。

「社会的養育ビジョン」においては、社会的養育の対象者は「すべての子ども」と定義され、何らかの事情により、社会的養護のもとで生活を送る子どもへの「家庭的養育」のさらなる推進が再認識されるとともに、代替養育までには至らないが、虐待が疑われる場合等の専門的な支援を必要とする家庭への在宅支援の強化も同時に提唱されました。

また、子どもや家庭への支援は、妊娠期や乳児期等のライフサイクルの一部を支援するだけでは解決が難しい側面があり、とりわけ虐待や貧困の課題に関しては、養育者を含めた家族支援がより重要となります。

そこで今回のセミナーでは、児童養護施設や母子生活支援施設をはじめとした社会的養育を担う事業者の専門性を生かした地域との関わり方と、家族課題の解決も視野入れたライフサイクル支援に重きを置きながら、これからの社会的養育のあり方について学んでいきたいと思います。

日程・会場等

【開催日】2020年3月5日(木)

【場所】A-P新橋 4F「Dルーム、Eルーム」

東京都港区新橋1-12-9 A-PLACE新橋駅前
(J R線、東京メトロ銀座線、都営浅草線「新橋駅」から徒歩1分)

- 9:00～ 受付
- 9:50～10:00 オリエンテーション
開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構
- 10:00～10:50 「子ども家庭福祉における施策動向(仮題)」
〈講師〉厚生労働省 子ども家庭局 家庭福祉課 社会的養護専門官 胡内 敦司 氏
- 11:00～12:10 「地域に信頼される児童養護施設をめざして ～すべての子どもに最善の利益を～(仮題)」
〈講師〉社会福祉法人別府光の園 統括施設長 松永 忠 氏
- 12:10～12:20 「福祉貸付事業の概要について(仮題)」
〈説明者〉独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
- 12:20～13:20 休憩(簡易融資相談コーナー)
- 13:20～14:30 「子どもの発達支援と児童虐待の予防・早期解決に向けて ～保護者に寄り添う支援をとおして～(仮題)」
〈講師〉あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏
- 14:40～15:50 「世帯支援の専門性を生かした子育て家庭へのアプローチ ～孤立や貧困の解消を目指して～(仮題)」
〈講師〉社会福祉法人みおつくし福祉会
母子生活支援施設 東さくら園 施設長 廣瀬 みどり 氏
- 16:00～16:30 「児童養護施設の経営状況について(仮題)」
〈説明者〉独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ 小寺 俊弘

※ 講師および講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●受講料：1名8,800円(消費税込)

受講料に昼食代は含まれません。宿泊施設や交通手段等はご自身でご準備ください。

●お申込方法：WEB、またはFAXにてお申し込みください。先着順にて受付いたします。

(福祉医療機構 トップページ → セミナー・イベント情報 → 児童福祉施設経営セミナー)

FAXでお申し込みの場合、お申し込みから5営業日以内に受講票等をお送りいたします。

●お支払方法：セミナー開催日前に受講料のお支払いが必要です。開催日の14日前までにお振込みください。

詳細は機構ホームページ、もしくはWEBシステムに掲載しております。

本セミナーの申込受付等につきましては、「名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター」に業務を委託しております。

TEL: 03-3595-1121 FAX: 03-3595-1119



<https://www.wam.go.jp/hp>

または

福祉医療機構

検索

WAM

〒105-8486 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル9階

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ セミナーチーム

TEL: 03-3438-9932 FAX: 03-3438-0371

主催： 独立行政法人福祉医療機構

日時： 2020年3月5日(木)

場所： AP新橋(東京都港区)

子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化するなか、あとを絶たない児童虐待ニュースをはじめ、孤立感や育児不安を保護者が一人で解消しきれず、深刻な事態に陥るケースが近年相次いでいます。また、核家族化等による、家庭の養育機能の低下により、子ども家庭福祉における課題はより複雑化・多様化しており、それらを支援する体制の構築が急がれるところです。平成28年に改正された児童福祉法や、翌年取りまとめられた「新しい社会的養育ビジョン」、また平成30年に通知された『都道府県社会的養育推進計画』の策定について等では、社会全体で子どもや子育て世代を包括的に支援していく方針が打ち出され、行政機関をはじめとした多機関・多職種で連携し、すべての子どもの利益を優先した仕組みづくりが進められております。

「社会的養育ビジョン」においては、社会的養育の対象者は「すべての子ども」と定義され、何らかの事情により、社会的養護のもとで生活を送る子どもへの「家庭的養育」のさらなる推進が再認識されるとともに、代替養育までには至らないが、虐待が疑われる場合等の専門的な支援を必要とする家庭への在宅支援の強化も同時に提唱されました。

また、子どもや家庭への支援は、妊娠期や乳児期等のライフサイクルの一部を支援するだけでは解決が難しい側面があり、とりわけ虐待や貧困の課題に関しては、養育者を含めた家族支援がより重要となります。

そこで今回のセミナーでは、児童養護施設や母子生活支援施設をはじめとした社会的養育を担う事業者の専門性を生かした地域との関わり方と、家族課題の解決も視野入れたライフサイクル支援に重きを置きながら、これからの社会的養育のあり方について学んでいきたいと思っております。

9:00~	受付
9:50~10:00	オリエンテーション 開会のあいさつ
10:00~10:50 (50分)	「子ども家庭福祉における施策動向(仮題)」 ＜講師＞ 厚生労働省 子ども家庭局 家庭福祉課 社会的養護専門官 胡内 敦司 氏
10:50~11:00	休憩(10分)
11:00~12:10 (70分)	「地域に信頼される児童養護施設をめざして ～ すべての子どもに最善の利益を ～(仮題)」 ＜講師＞ 社会福祉法人別府光の園 統括施設長 松永 忠 氏
12:10~12:20	「福祉貸付事業の概要について」 ＜説明者＞ 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
12:20~13:20	休憩(60分)～融資相談会～
13:20~14:30 (70分)	「子どもの発達支援と児童虐待の予防・早期解決に向けて ～ 保護者に寄り添う支援をとおして ～(仮題)」 ＜講師＞ あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏
14:30~14:40	休憩(10分)
14:40~15:50 (70分)	「世帯支援の専門性を生かした子育て家庭へのアプローチ ～ 孤立や貧困の解消を目指して ～(仮題)」 ＜講師＞ 社会福祉法人みおつくし福祉会 母子生活支援施設 東さくら園 施設長 廣瀬 みどり 氏
15:50~16:00	休憩(10分)
16:00~16:30 (30分)	「児童養護施設の経営状況について(仮題)」 ＜説明者＞ 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ 小寺 俊弘

※ 講師および講義内容などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本セミナーはWEBシステムによるお申し込みをお願いしております。

WEBシステムをご利用いただくと、FAXお申込より受付・受理のご連絡がスムーズです。

詳しくは福祉医療機構ホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp>)をご覧ください。

児童福祉施設経営セミナー 受講申込書

(主催 : 独立行政法人 福祉医療機構)

1. 新規 2. 内容変更 3. 参加取消

← いずれかに○をつけてください。

「2」、「3」の場合は、送付済の受講申込書をご修正のうえ、FAXにて再送ください。

1. 受講希望会場

東京会場 2020年3月5日(木)

2. 受講申込者

氏名	役職名	役職・職種	いずれかに○をつけてください。
フリガナ		1. 社会福祉法人役員	2. 社会福祉法人職員
		3. 医療法人役職員	4. NPO法人役職員
		5. 一般企業(福祉・医療)役職員	6. 一般企業(コンサル等)役職員
		7. 行政等職員	8. 会計士・税理士
		9. 金融機関職員	10. その他()
氏名	役職名	役職・職種	いずれかに○をつけてください。
フリガナ		1. 社会福祉法人役員	2. 社会福祉法人職員
		3. 医療法人役職員	4. NPO法人役職員
		5. 一般企業(福祉・医療)役職員	6. 一般企業(コンサル等)役職員
		7. 行政等職員	8. 会計士・税理士
		9. 金融機関職員	10. その他()

3. ご住所等

1. 勤務先

2. 自宅

← いずれかに○をつけてください。

ご住所	(〒 -)
ご送付先名称 (法人名・施設名等)	
電話番号 (日中ご連絡先)	
	ご担当者名
	FAX番号

4. 経営されている施設・事業 いずれかに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------------|
| 1. 児童養護施設 | 2. 乳児院 | 3. 母子生活支援施設 | 4. 児童心理治療施設 |
| 5. 児童自立支援施設 | 6. 児童家庭支援センター | 7. 保育所・認定こども園 | 8. 障害児通所支援事業、入所支援事業 |
| 9. 婦人保護施設 | 10. その他() | | |

5. 融資のご利用 いずれかに○をつけてください。

1. あり

2. なし

6. ご連絡事項がある場合はご記入ください。

※ 本セミナーの申込受付等につきましては、「名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター」に業務を委託しております。

※ ご提出いただいた顧客情報は、福祉医療機構・業務委託先において、適切に保管・廃棄等の管理を行っており、経営サポート事業のために使用するほか、機構の他事業間で共有することがあります。詳細は当機構ホームページ「顧客情報の取扱いについて」をご覧ください。

※ 当機構は反社会的勢力との関係を遮断し、排除するため、警察等関係機関とも連携して適切に対応しています。詳細は当機構ホームページの「コンプライアンスの取組」をご覧ください。

※ お身体の不自由な方、病気やけがをされている方など、受贈に際してお手伝いが必要な場合には「6. ご連絡事項がある場合はご記入ください。」欄にてお知らせください。



お申込先 FAX: 03-3595-1119

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター あて(送付書は不要です)

2019年12月16日(月) 10:00受付開始

広報電子媒体のご案内

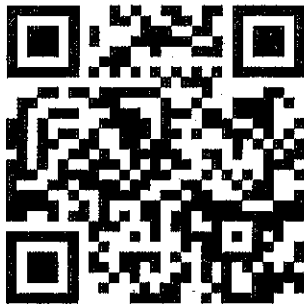
平成 30 年度から当機構経営セミナーの広報資料を電子媒体にて、下記 URL に掲載しております。ご周知いただく際にぜひご活用ください。

- セミナー名 : 児童福祉施設経営セミナー
- 開催日 : 2020 年 3 月 5 日 (木)

<URL>

<http://bit.do/fjxdF>

<QR コード>



【お問い合わせ先】

独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンターセミナーチーム

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル9F

TEL: 03-3438-9932